

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年6月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年6月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

平成24年6月の1店当たりの新車販売台数は前月比91.6%の16.3台となり、前年同月比では0.1台減の99.4%となった。車種別でみると前月比はスポーツ車のみが104.3%と上回っており、ホーム車、折りたたみ車、マウンテンバイクが横ばいで、下回ったのがシティ車82.4%、子供車76.5%、幼児車50.0%、電動アシスト車86.7%である。前年同月比では上回ったのがホーム車101.4%、子供車118.2%で、折りたたみ車、マウンテンバイク、スポーツ車、電動アシスト車が横ばい、下回ったのはシティ車93.3%。幼児車80.0%である。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「6月も販売、修理減、来店客数減。先が見えない！すべての業界が悪いのか？」(東京)、「天気はよかったが動きはいまいち、ボーナスの話もまったく聞かれず不景気のような」(長野)、「開業以来最悪の6月だった(修理、販売ともに)」(大阪)、「苦労に苦労して、何とか前年同月を維持できたが、苦しかった」(東京)、「6月後半雨の日が多く自転車の売上げに影響が出た。修理の方は例年並みでまあまあだった」(福井)、「売上げ、修理ともに例年並みで特に言うこともなし」(山口)、「悪天候の日が多かったが前年並みとなった」(高知)など、低調や平年並みを示すコメントが多かった。

また「修理とお客様外交とTS点検で何とかつないでいる。お客様に喜ばれるように外交に努力する」(新潟)、「7月は今年最後の売り出しをしようと思っている。子供車、幼児車の目玉商品をつくり、がんばりたい」(京都)、「ネットやホームセンターで購入した自転車の修理が目立つようになったが、誠意をもって対応するように心がけている。修理を必要としているなら、当店を選んでもらいたいと思うから」(岡山)など、低迷するなか、何か行動しようとするコメントがみられた。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年6月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	2.8	15.2	3.4	17.3	82.4	3.0	16.3	93.3
ホーム車	7.0	38.0	7.0	35.5	100.0	6.9	37.5	101.4
折りたたみ車	0.6	3.3	0.6	3.0	100.0	0.6	3.3	100.0
子供車	1.3	7.1	1.7	8.6	76.5	1.1	6.0	118.2
幼児車	0.4	2.2	0.8	4.1	50.0	0.5	2.7	80.0
マウンテンバイク	0.6	3.3	0.6	3.0	100.0	0.6	3.3	100.0
スポーツ車	2.4	13.0	2.3	11.7	104.3	2.4	13.0	100.0
電動アシスト車	1.3	7.1	1.5	7.6	86.7	1.3	7.1	100.0
合計	16.3	88.6	17.8	90.4	91.6	16.4	89.1	99.4
中古車	2.1	11.4	1.9	9.6	110.5	2.0	10.9	105.0
総合計	18.4	100.0	19.7	100.0	93.4	18.4	100.0	100.0
モーターバイク	0.6	3.3	0.7	3.6	85.7	0.5	2.7	120.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回7月の販売動向調査結果は8月下旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会